

県総体がいよいよ佳境を迎え、多くの競技が開催されました。男女バドミントン団体、ハンドボール、陸上、テニスが行われました。



バドミントンの団体、ハンドボールは残念ながら初戦敗退。陸上は男女のリレー、女子400m、男子100m、やり投に出場。男女のリレーと女子400m、男子100mは力を尽くしましたが予選敗退。男子やり投に出場した木戸選手は予選で48m台のベスト記録で予選通過。決勝は混戦が予想されるため、ベストな投げができれば6位入賞近畿大会

も見てきたのですが、3回目までに45m台と厳しい戦いを迫られ、最終的には10番目の記録でベスト8に進めず残念な結果に終わりました。しかしながら今シーズンに入ってベスト記録を更新し続け、狭いグラウンドでも工夫した練習と気持ちでここまでこれるということの後輩たちに伝えてくれたように思います。スタンドからの応援も一体感があり、とても良かったです。お疲れ様でした。同じ総合運動公園テニスコートで行われたテニス部の試合は、コートが多く、私がお会場を探している間に終了していたようで、駆けつけたときには、すでに最後のショットを決められ挨拶に向かうところでした。十分に持てる力を出せず、初戦敗退となる残念な結果だったようです。お疲れ様でした。引率の先生方も本当にありがとうございました。



同じ日に環境防災科を中心としたボランティアを

募り、4年ぶりに行われたたるみっこ祭りに参加した本校生。とても天気が良く十分な活動ができたのではないのでしょうか。ありがとうございました。

今週末はウェイトリフティング、男女バレーボール、ソフトボールが県総体に臨みます。文化祭の準備

も忙しいところではありますが、悔いの残らないように頑張ってください。

さて、私は、先日螢を見に行ってきました。毎年この時期に同じところに見に行くのですが、今年は螢が若干多いように感じました。20年程前に周りを照らす照明があるのかと思うくらいものすごい数の螢を見てから、川の整備とともにその数は激減し、ポツポツとした光しかなかったのですが、近年少しずつ増えてきているように思います。時期的には梅雨前で、夜の8時前後が見頃です。一瞬だけでも幻想的な世界に引き込まれ、とても癒やしの時間となりました。その時期にしかないもの(桜もそうですね)を楽しむ気持ちの余裕は持ち続けたいと思っていますし、周りの変化に気づくことは防災を考える意味でも必要なことだと思いますので、星空も含めて身近な自然を感じて欲しいと思いました。

29日の環境防災科1年「環境と科学」では本校卒業生で気象予報士の安福英俊先生に来ていただき、雲、気圧、天気予報について用語や考え方など基本的な話を伺いました。ペットボトルを用いて雲を作ったり(写真左)、高気圧と低気圧の関係(写真右)から天気図の読み解き方を教わったり、



丁寧に教えていただきました。簡単な実験を取り入れて空気の軽重の原理を説明されたので、よく理解できました。気圧の高低で、空気の流れができ、空気が上昇すると水蒸気が冷やされて雲が発生し、雨を降らせること、低気圧では基本的に雨が降るということを説明されました。基本的なことが理解できれば、天気図につなげることもできます。防災を考える上では天気図を読み解くことは重要です。とても参考になりました。

いよいよ6月になります。日の出時刻が4時台に、日の入時刻が19時台に入りました。夏至まではもう少し伸びそうですが、日中の時間が長くなりました。また例年より10日早い梅雨入りとなりました。雨の多い季節となりますが、コンディションを整え、文化祭を皆で楽しめるようにしっかり準備をしてください。